

令和4年度に取組みを強化すべき施策

ポストコロナの新たな時代においても、福岡市が常に世界から選ばれる都市であることを目指して、一人ひとりが Well-being（充実感や幸せ）を実感できる「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現に向けて、これまで以上にスピード感を持ってチャレンジし続ける必要がある。

主な課題

○脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けたチャレンジ

- ・再生可能エネルギーの創出、利用促進
- ・脱炭素型ライフスタイルへの転換
- ・二酸化炭素を吸収する森づくり、木造・木質化への支援 など

○デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- ・ノンストップ行政の実現（行政手続きのデジタル化・オンライン化、スマート区役所など）
- ・ICTなど先進的なテクノロジーを活用した市民サービスの利便性向上 など

○ぬくもりのある行政サービスの提供

- ・市民に身近な区役所、公共施設などでのサービス向上
- ・地域コミュニティの活性化、市民や企業などとの共働・連携 など

○感染症対応シティの推進

- ・企業等によるビジネスモデルの転換やイノベーションの創出、実装への支援
- ・地方分散型社会への対応（国際金融機能の誘致） など

○Well-beingの向上に資する取組みの推進

- ・市民や企業などへの積極的な情報発信、認知度の向上
- ・子ども、子育て世代、女性など市民の Well-being向上に資する取組みの推進 など